

## 環境功労者表彰

令和7年度川崎市環境功労者表彰式を6月26日(木)に川崎市役所本庁舎2階ホールで行いました。今年で28回目となる表彰式は、川崎市内で地球温暖化対策や緑の保全・緑化、地域の清掃・美化、廃棄物の減量化・リサイクルなどを推進し、地域環境の向上に顕著な功績のあった個人・団体33組が表彰されました。(参考) <https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000177999.html>

吉松 富壽子氏 川崎市長 福田 紀彦氏




## 2025年度 第1回 推進員研修会開催

8月24日(日)川崎市地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました。第1回では、「ITを活用した広報手段及び業務効率UPのヒント」と題して、川崎市環境局 勝又職員による川崎イベントアプリ等の紹介、(一社)川崎ESD研究会坂本理事によるGIGA端末の現状、当センタースタッフによるGoogleフォームの説明等を行いました。



## 川崎市地球温暖化防止活動推進員の夏の活動

### CCあさお

2025年8月1日(金)、大雨による鶴見川の水害から守る恩廻公園調節池見学会及び地球温暖化を考える講義を実施しました。恩廻公園調節池は鶴見川の洪水から川崎を守るために2003年に完成しました。小学生、保護者、スタッフを含めて参加者総数36名。気候変動による水害を考え、少しでも良い環境を、という声もありました。

超流堤・流入水路 本坑内・説明

### 多摩エコスタイルプロジェクト

猛暑が続いた今年の夏、どこがどれくらい暑いのか、実際に測って比べる『暑さくらべ』を子どもたちと行いました。駅前と二ヶ領用水、アスファルトと草地、地面など、気になるところを自由に測ります。その中に緑地の効果や発見があり、涼しく過ごすヒントもありました。また別途、脱使い捨てを目指して繰り返し使える『みつろうラップづくり』も実施。生活中で使い捨てゴミを減らす工夫ができればと思っています。

「暑さくらべ」の結果は[こちら](#)▶

打ち水 2025

### CCさいわい

8月22日(金)に、川崎市地球温暖化防止活動推進センターと共同で幸区の鹿島田商店会主催の【地球を冷やそう大作戦2025】イベントにてクイズで学ぶ地球温暖化の今と、太陽熱を利用したミニソーラークッカー作りの体験教室を行い、その後バス通り一帯での打ち水に参加しました。

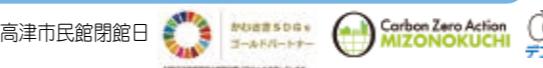
今年で3年目の参加となります。地域との連携を今後も継続し、地球温暖化防止の啓発に努めてまいります。

## 編集後記

今年の夏も本当に猛暑でした。そんな中でも7月に開催した「夏休み自由研究週間～子ども環境ワークショップ～」では、元気な子ども達の笑顔に会えました。今年も開催して良かった、そんなことを感じる10日間でした。

※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた特定非営利活動法人アクト川崎が運営しています。

【開室日】水曜日～日曜日 午前10時～午後5時 【閉室日】月曜日、火曜日、年末・年始、高津市民館閉館日



川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



# エコちゃんず通信 No.63

2025.9.30発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します



8月から11月のテーマは「気候危機と防災」です。

展示では、防災クイズ、災害時の食についてのパネルに加え、花王国際こども環境絵画コンテスト受賞作品の展示を行いました。

講座では、親子実験教室「ペットボトルの中に雲を作る実験と空気砲工作」で、実験を通して大気の性質や気候変動について学びました。



9月9日(月)、川崎市内の企業や市民団体等が参加しました。当センターは、環境出前講座・授業、啓発イベント、中小企業の脱炭素の見える化、脱炭素アクションみのくちに焦点を絞り、SDGsの取組みを紹介しました。



### 熱中症注意喚起の出前講座開催

8月11日(月)下小田中町会老人会で、熱中症注意喚起の出前講座を実施。地球温暖化の影響による猛暑、高齢の方への熱中症のリスクや予防方法等について説明しました。配付した温度計付のチラシや熱中症を回避するマイタイムライン作りができる冊子は利便性の面からもとても好評でした。

生活の心得 練習を確認！

### 9月14日(日)開催 まちかつフェス高津に初の出展

高津区内で活動する41団体が一堂に会する高津区市民活動フェス「まちかつフェス高津」に、初出展しました。ブース参加者数は、300人と大変賑わいました。

子ども服と雑貨の「プチあさがり交換会」には、多数の方が子ども服を持ち込み、交換を楽しめました。また、サステナブルファッションの紹介とアンケートを行い、多くの来場者に衣類に関する課題や取り組みに关心を持っていただく機会となりました。

# 2025年 夏休み自由研究週間 子ども環境ワークショップ

夏休みの恒例講座として、今年は10日間で21講座を実施しました。工作や体験を通して、多くの子ども達が環境への理解を深める機会となりました。

